

科目名	インターンシップ3							年度	2026
英語科目名	Internship 3							学期	後期
学科・学年	情報処理科 2年次	必/選	選	時間数	150	単位数	5	種別※	実習
担当教員	インターンシップ先担当者	教員の実務経験		有	実務経験の職種		IT関連職種		

**【科目の目的】**

インターンシップとは、学生が在学中に自分の専攻や将来のキャリアに関わる仕事を実際に体験することを指します。本カレッジのインターンシップでは、産業界と連携しながら実践的な体験や意欲向上を通じて、将来の企業人を育成することを目指しています。インターンシップを通じて、以下のような学びが期待されます。  
 企業での仕事の流れや進め方を理解すること。  
 企業の組織構造や職場での人間関係、ルールを理解すること。  
 学校で学んだ知識が社会でどのように役立つかを確認し、今後の学びの意欲を高めること。

**【科目の概要】**

インターンシップは、在学中に行う「就労体験」です。本カレッジでは、夏休み期間（2年次の8～9月）に学校の支援のもと長期インターンシップを実施します。期間は1～2週間で、授業で学んだ内容を実践的に活用する場となります。実習は受け入れ企業やそのユーザー企業の社内で行い、最終的な評価は各企業の担当者に依頼します。

**【到達目標】**

学生が在学中に専攻分野や将来のキャリアに関連する就業体験を行い、実践的な経験と意欲向上を通じて将来の企業人としての成長を目指します。  
 企業での業務の流れや仕事の進め方を理解すること。  
 企業の組織構造、人間関係、職場でのルールについて理解すること。  
 学校で学んだ知識が社会でどのように活用されるかを確認し、今後の学びへの意欲を高めること。  
 インターンシップに参加するにあたり、各自が達成したい目標を事前に立て、今後の学生生活に活かしてほしいと考えています。

**【授業の注意点】**

インターンシップに参加する前に、担当教員と共に受入先企業を訪問し、顔合わせを行います。また、インターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）には事前に参加してください。  
 勤務時の服装は、受入先から特に指定がない限りスーツの着用が基本です。期間中、電車の遅延や体調不良による遅刻・欠勤がある場合は、必ず事前に電話で連絡してください。無断欠勤や勤務時の態度が適切でない場合、インターンシップが中断される可能性があります。やむを得ない事情がある場合は、速やかに受入先企業および担任に連絡をお願いします。その他、社会人としての基本的なマナーを守り、インターンシップに取り組んでください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解し実践できる		企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解しているが、実践できない		企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解していない
到達目標 B	企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解している		企業の組織構造を理解していない、または組織における人間関係やルールを理解していない		企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解していない
到達目標 C	学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解し、今後の学習への動機づけをすることができる		学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しているが、今後の学習への動機づけをすることができない		学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを理解しておらず、また今後の学習への動機づけをすることができない
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

資料を配布します。

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

実習期間中に行われる発表の方法や内容を評価します。  
 積極的な参加度や勤務態度に基づいて評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		インターンシップ3			年度	2026
英語表記		Internship 3			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ参加(1)	会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する	1 企業研究	会社概要と就業規則を理解する	3	
			2 情報セキュリティ	就業時の情報の取扱い方とリスクについて理解する		
			3 業務内容	インターンシップで行う業務内容を理解する		
2	インターンシップ参加(2)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
3	インターンシップ参加(3)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
4	インターンシップ参加(4)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
5	インターンシップ参加(5)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
6	インターンシップ参加(6)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
7	インターンシップ参加(7)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
8	インターンシップ参加(8)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
9	インターンシップ参加(9)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
10	インターンシップ参加(10)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける	1 業務理解	就業体験を通してITエンジニアの仕事を理解する	3	
			2 グループワーク	業務体験を通して協調性の重要性を学ぶ		
11	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
12	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
13	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
14	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		
15	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する	1 報告書の準備	発表することを念頭に適切に文書をまとめる	3	
			2 報告書の発表	活動内容を分かりやすく報告する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等